製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

1, 化学物質等及び会社情報

製品名　テルル(粉末)　Tellurium, powder
整理番号　48340
作成日　2000 年 10 月 5 日
改訂日　2011 年 7 月 11 日

会社名　純正化学株式会社
本社住所　〒103-0023　東京都中央区日本橋本町 4-4-16
●連絡先及び緊急連絡先 (MSDS 作成担当)
担当部門　営業本部　学術担当
担当住所　〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町1－6
電話番号　048-988-3621　FAX 番号 048-988-6689
E-mail: shiyaku-t@junsei.co.jp
http://www.junsei.co.jp

用途と使用上の注意: 本製品は試薬ですので、試験研究用以外には使用しないで下さい。

2, 危険有害性の要約

【GHS 分類】 NITE 分類(ID=236)

物理化学的危険性
- 自然発火性固体 :区分外

健康に対する有害性
- 急性毒性 経口 :区分 3
- 皮膚腐食性／刺激性 :区分 2
- 眼に対する重篤な損傷性／刺激性 :区分 2A-2B
- 生殖毒性 :区分 2
- 特定標的臓器／全身毒性 (単回暴露) :区分 2 (末梢神経系)、 区分 3 (気道刺激性)

環境に対する有害性

(注) 危険有害性の分類で、「分類対象外」及び「分類出来ない」は項目を省いた。

【GHS ラベル要素】

【GHS 絵表示】

【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

飲み込むと有毒 (経口)

皮膚刺激
強い眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
末梢神経系の障害のおそれ、呼吸器への刺激のおそれ

【注意書】

【安全対策】

・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・使用前に取扱説明書を入手すること。
・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
・個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
・保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
・粉じんを吸入しないこと。
・取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
・汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
・ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
・飲み込んだ場合:直ちに医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。
・眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
・皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

・施錠して保管すること。

【廃棄】

・中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

3, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別:単一製品
化学名:テルル
化学式:Te(元素記号)
CAS No:13494-80-9
EINECS No:236-813-4
含有量:99.9%
化審法:元素
安衛法:元素

4, 応急措置

○ 吸入した場合:新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。
○ 皮膚に付着した場合:汚染された衣服を脱がせ、水と石けんで皮膚を洗浄。医師に連絡。
○ 眼に入った場合:先ず数分間、多量の水で洗い流す(できればコンタクトレンズをはずす)。医師に連れて行く。
○ 飲み込んだ場合:意識あるなら、口をすすぐ。意識なければ、何も与えない。医師に連絡。

予想される急性症状及び遅発性症状

吸入:し眠、口内乾燥、金属味、頭痛、にんにく臭、吐き気。

眼：発赤、痛み。
経口摂取：腹痛、便秘、嘔吐。
最も重要な徴候及び症状
応急措置をする者の保護に必要な注意事項
医師に対する特別な注意事項

5, 火災時の措置
消火剤
水スプレー、粉末消火薬剤、AFFF（水性膜泡消火薬剤）、泡消火薬剤、二酸化炭素。
使ってはならない消化剤
棒状放水
消火方法
周辺火災の場合、出切る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。
着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。
特有の危険有害性：
特有の消火方法：データなし
消火を行う者の保護のために着用する保護具：防火保護服、手袋に加え、空気呼吸器等を着用する。

6, 漏出時の措置
人体に対する注意事項
暴露しないよう十分な換気のもと保護具着用して行う。
保護具及び緊急時措置
「8. 暴露防止及び保護措置」における、保護具着用
環境に対する注意事項
上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。
回収、中和
漏出物をふた付の容器に集め、残留物を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

7, 取扱い及び保管上の注意
取扱い
－蒸気、ミスト、ガスが、皮膚に触れたり、吸入することがないように、
局所排気したり、保護具を着用する。
－作業場を換気する。
－作業中は飲食、喫煙をしない。
－強酸化剤との接触に注意する。
保管
－火気厳禁。
－密栓して換気のよい冷暗所に保管する。
－強酸化剤から離しておく。

8, 暴露防止及び保護措置
通気：換気装置を用いて、ミスト、ほこり、蒸気濃度を低く保つ。
管理濃度（労働安全衛生法）：設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会(2008 年度):設定されていない

ACGIH(2009 年):TLV-TWA　0.1mg/m3

設備対策

局所排気装置

保護具

－防塵マスク。防毒マスク。送気マスク、空気呼吸器等。

－不浸透性保護手袋。

－安全ゴーグル。

－不浸透性保護衣。

9, 物理的及び化学的性質

外観:金属的特徴のある、暗灰色～茶色の非結晶性粉末、又は銀白色の光沢のある結晶性固体

臭い:無臭

pH: データなし

融点:449.8℃

沸点:989.9℃

引火点:データなし

爆発範囲の上限･下限:　データなし

蒸気圧:データなし

蒸気密度:データなし

比重:6.0-6.25g/cm3

溶解度:水に不溶

n-オクタノール／水分配係数:データなし

自然発火温度:データなし

分解温度:データなし

10, 安定性及び反応性

反応性と安定性: 空気中で粒子が細かく拡散して爆発性の混合気体を生じる。

避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動など):加熱すると、有毒なヒュームを生じる。

混触不可物質:ケイ化リチウムはテルルを白熱しながら侵す。

ハロゲンやハロゲン間化合物との接触に注意する。

危険な分解生成物:燃焼の際は、有毒なヒュームが生成されることがある。

危険な重合反応:しない

11, 有害性情報

急性毒性　経口

ラット LD50　83mg/kg

飲み込むと有毒(区分 3)

急性毒性　経皮

データなし

急性毒性　吸入:ガス

データなし

急性毒性　吸入:蒸気

データなし

急性毒性　吸入:粉塵ミスト
データなし
皮膚腐食性／刺激性
皮膚を刺激するとの記述から、区分 2 とした。
皮膚刺激 (区分 2)
眼に対する重篤な損傷性／刺激性
眼を刺激するとの記述から、区分 2A-2B とした。
重篤な眼への刺激 (区分 2A-2B)
呼吸器感作性
データなし
皮膚感作性
データなし
生殖細胞変異原性
データなし
発がん性
データなし
生殖毒性
ラットを用いた妊娠 6-15 日混餌経口投与試験において親動物に一般毒性が認められる用量で子に奇形 (水頭症) が認められたとの記載から、区分 2 とした。なおにはラットを用いた試験で母乳を介したばく露により子の神経系に影響 (坐骨神経痛のシュワン細胞とミリ絵リンの変性、神経系の髄鞘低形成) が認められたとの記述がある。
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い (区分 2)
特定標的臓器／全身毒性 (単回暴露)
幼若ラットを用いた混餌経口投与試験で末梢神経系への影響が認められたとの記述から、区分 2 (末梢神経系) とした。また気道を刺激するとの記述から、区分 3 (気道刺激性) とした。
末梢神経系の障害のおそれ (区分 2)
呼吸器への刺激のおそれ
特定標的臓器／全身毒性 (反復暴露)
製鉄所での 2 2 か月間の職業ばく露例では、呼気のにんにく臭、金属味、口渇、発汗、眠気および吐き気など、いずれも障害を残さない一過性の軽微な症状のみが認められたことから、分類できないとした。
吸引性呼吸器有害性
データなし

12, 環境影響情報
－生態毒性
水性環境急性有害性
データなし
水性環境慢性有害性
データなし

13, 廃棄上の注意
中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14, 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実におこなう。

国連番号:3284
品名:テルル化合物(固体)
国連分類:6.1(毒物)
容器等級:III
海洋汚染物質:該当

緊急時応急措置指針番号:151

15, 適用法令

消防法:非該当
毒劇法:非該当
旧PRTR法:2-50(テルル及びその化合物)(平成12年3月30日施行)
新PRTR法:非該当(平成21年10月1日施行)
労働安全衛生法:安衛法通知有害物(施行令、別表第九の番号):376(テルル及びその化合物)
船舶安全法: 危規則第3条危険物 毒性物質
航空法:施行規則第194条危険物 毒性物質

16, その他の情報

参考文献
－メルクインデックス14版 9121
－STNインターナショナル RTECS ファイル AQUIRE ファイル
－危険物船舶運送及び貯蔵規則(十四訂版)国土交通省海事局検査測度課(海文堂)
－改訂第3版 緊急時応急措置指針(日本規格協会)
－15911 の化学商品(化学工業日報社)
－NITE GHS 分類データ (ID=236)
－NITE GHS 分類マニュアル(H18.2.10 版)
－製品安全データシートの作成指針(改訂第2版)((社)日本化学工業協会)
－化学物質総合情報提供システム(CHRIP)(NITE) http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html

---

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。また、記載物性値は文献値であり、規格値ではありません。
全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途, 用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。